

経営比較分析表（令和元年度決算）

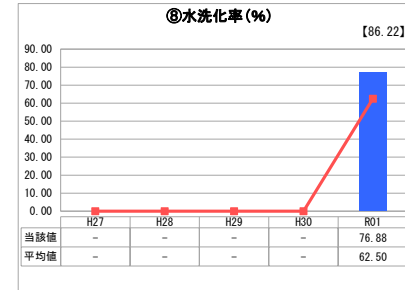
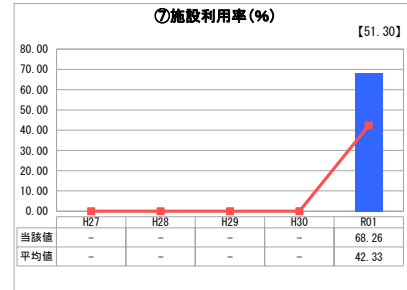
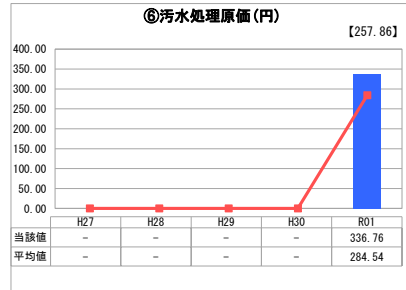
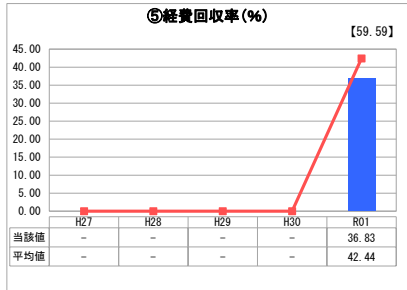
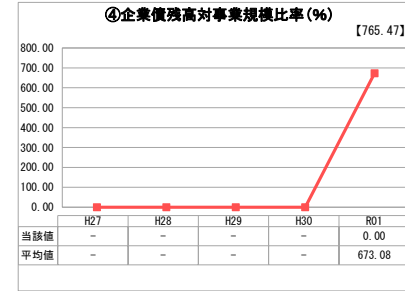
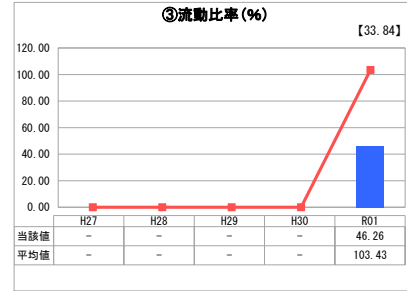
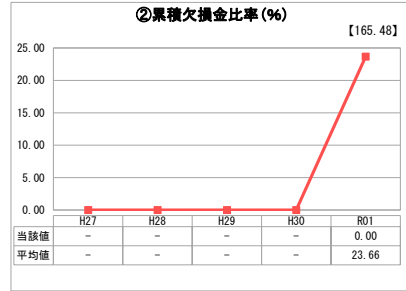
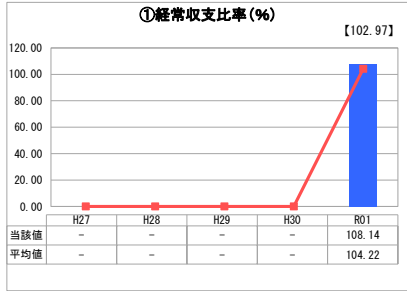
静岡県 御殿場市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.22	1.34	94.25	2,570

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
88,252	194.90	452.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,172	0.30	3,906.67

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えており、累積欠損金も0となっているが(2)、一般会計からの繰入金を受けているため、経費回収率(5)は類似企業平均と比較しても低い水準となっている。

一般会計からの繰入金は、予算段階で単年度の現金収支が一致するよう額を決定している。このため、翌年度中に償還予定の企業債元金の額を含めた流動資産を年度末時点で保有することは難しく、流動比率(3)は今後も同程度で推移していくことが予想される。

また、現行の繰出基準をもとに計算すると、当事業の企業債残高は全額が一般会計の負担となる見通しである。このため、企業債残高対事業規模比率(4)は0となっている。

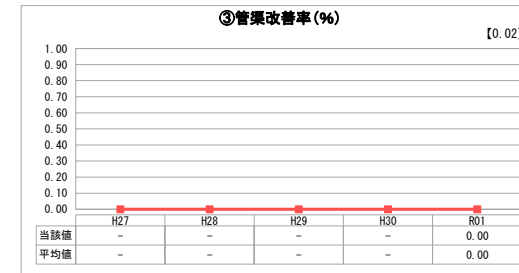
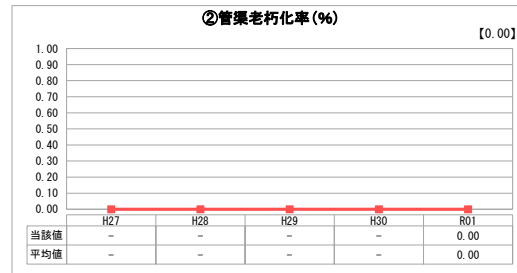
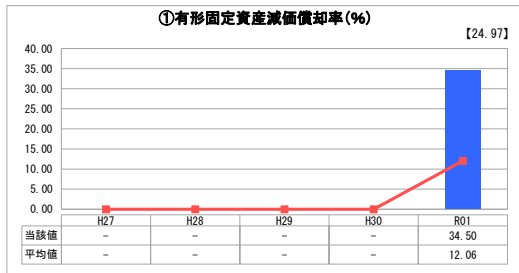
施設利用率(7)及び水洗化率(8)は、当事業の制度上、大きく改善することが難しいため、汚水処理原価(6)は将来に渡って現在のよう水準が続く見込みである。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率(2)及び管渠改善率(3)の数値が0となっており、処理場についても稼働後20年未満の施設である。

このため、有形固定資産減価償却率(1)は類似企業平均と比較すると高い数値となっているが、老朽化は大きな問題となっていない。

2. 老朽化の状況



全体総括

当事業は令和元年度より地方公営企業法を適用したため、今回の指標が初年度の数値となる。

これらの経営指標を参考に、一般会計からの繰入金を削減し、経費回収率(1.5)を向上するために必要とされる施策を検討し、令和2年度中に経営戦略として取りまとめる予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。